

平成 16 年度中間財務諸表（民間会計基準準拠）の概要

国際協力銀行

国際協力銀行は、平成 16 年度中間財務諸表（民間会計基準準拠）を作成し、平成 16 年 12 月 28 日付で公表致しました。なお、今回発表した財務諸表については、その客観性を確保するため、証券取引法第 193 条の 2 の規定に準じて、自主的に中央青山監査法人から監査証明を取得しています。

平成 16 年度中間財務諸表（民間会計基準準拠）に係る主要な指標は以下のとおりです。

（単位：百万円）

	平成16年度中間期			平成15年度中間期		
	総括	国際金融等 勘定	海外経済協力 勘定	総括	国際金融等 勘定	海外経済協力 勘定
経常収益	259,613	134,110	125,502	267,363	141,038	126,324
経常費用	166,261	112,137	59,033	179,619	110,834	68,785
経常利益	93,352	21,973	66,469	87,743	30,203	57,539
特別損益	15,671	27	20,552	37,554	502	37,051
中間純利益	109,023	22,001	87,022	125,297	30,705	94,591

（単位：百万円）

	平成16年9月末			平成16年3月末		
	総括	国際金融等 勘定	海外経済協力 勘定	総括	国際金融等 勘定	海外経済協力 勘定
資産の部合計	21,034,217	10,345,618	10,688,598	20,839,757	10,146,237	10,693,520
現金預け金	450,325	419,061	31,263	217,328	182,404	34,924
有価証券	119,840		119,840	120,514		120,514
貸出金	19,329,063	8,750,452	10,578,610	19,306,245	8,727,720	10,578,524
その他資産	534,048	457,647	76,401	704,284	622,481	81,802
支払承諾見返	845,107	845,107		724,924	724,924	
貸倒引当金	274,692	150,044	124,647	263,425	133,868	129,557
負債の部合計	13,008,373	8,740,590	4,267,782	12,943,761	8,525,535	4,418,226
債券	1,895,891	1,870,891	25,000	1,561,373	1,536,373	25,000
借入金	9,977,839	5,761,271	4,216,568	10,392,925	6,027,018	4,365,907
その他負債	271,286	252,006	19,279	246,191	225,843	20,347
支払承諾	845,107	845,107		724,924	724,924	
資本の部合計	8,025,844	1,605,027	6,420,816	7,895,995	1,620,702	6,275,293
資本金	7,748,644	985,500	6,763,144	7,690,144	985,500	6,704,644
剰余金	277,199	619,527	342,328	205,851	635,202	429,350
資本 / 資産	38.2%	15.5%	60.1%	37.9%	16.0%	58.7%

損益の状況

当行は、貸出等による資金運用期間が借入等による資金調達期間を上回る資産・負債構成となっており、また、資金運用・資金調達ともに長期という特徴があります。この特徴から数年来の金利低下・低位安定局面においては利息収支差が継続的かつ堅調に推移してきましたが、当中間会計期間においても引き続きこの基調に大きな変化はなく、結果として、平成16年度中間決算における経常利益は、国際金融等勘定219億円、海外経済協力勘定664億円、総括933億円を計上しました。

なお、平成14年度に政府により決定された債務救済方式の見直しに対応して、平成15年度より政府一般会計からの交付金が当行に交付されており、これを海外経済協力勘定の特別利益(「政府交付金収入」)に計上しております(当中間会計期間において150億円)。

【総括】

(単位:億円)

	平成16年度中間期	平成15年度中間期
業務粗利益	1,167	1,006
資金利益	1,133	1,043
役務取引等利益	15	20
その他業務利益	18	57
営業経費()	115	129
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	1,052	876
その他経常利益	118	1
貸倒引当金・投資損失引当金繰入額	119	-
貸出金償却	-	1
株式等償却	-	1
その他	1	4
経常利益	933	877
特別損益	156	375
当期純利益	1,090	1,252

【国際金融等勘定】

(単位:億円)

	平成16年度中間期	平成15年度中間期
業務粗利益	459	380
資金利益	422	415
役務取引等利益	19	22
その他業務利益	18	56
営業経費()	72	81
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	387	299
その他経常利益	168	2
貸倒引当金・投資損失引当金繰入額	168	-
貸出金償却	-	1
株式等償却	-	-
その他	0	3
経常利益	219	302
特別損益	0	5
当期純利益	220	307

〔海外経済協力勘定〕

(単位:億円)

	平成16年度中間期	平成15年度中間期
業務粗利益	707	625
資金利益	710	628
役務取引等利益	3	1
その他業務利益	0	0
営業経費()	43	48
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	664	576
その他経常利益	0	1
貸倒引当金・投資損失引当金繰入額	-	-
貸出金償却	-	-
株式等償却	-	1
その他	0	0
経常利益	664	575
特別損益	205	370
当期純利益	870	945

資産、負債及び資本の状況

平成16年9月末の国際金融等勘定の総資産は10兆3,456億円(対前期末比1,993億円増)、負債計は8兆7,405億円(同2,150億円増)、資本計は1兆6,050億円(同156億円減)、海外経済協力勘定の総資産は10兆6,885億円(対前期末比49億円減)、負債計は4兆2,677億円(同1,504億円減)、資本計は6兆4,208億円(同1,455億円増)、総括の総資産は21兆342億円(対前期末比1,944億円増)、負債計は13兆83億円(646億円増)、資本計は8兆258億円(同1,298億円増)となりました。

貸出金の状況

資産自己査定については、以下に掲げるリスク管理債権及び金融再生法基準による開示債権を含めて、「銀行等金融機関の資産の自己査定に係る内部統制の検証並びに貸倒償却及び貸倒引当金の監査に関する実務指針」(平成9年4月15日日本公認会計士協会銀行等監査特別委員会報告第4号)に準拠した中央青山監査法人による監査を受けており、適切と認められた情報を開示しています。

当行の特徴として途上国政府等向けの公的債権と位置付けられる与信が多いことがあげられます。この公的債権については、債務国の経済状況等により返済が一時的に困難となった場合において、持続的な債務返済を可能とするために、債権国間の国際的合意(パリクラブ合意)に基づき債務繰延べを行うことがあります。この一時的な流動性支援のなかで、債務国はIMF(国際通貨基金)との間で合意した経済改革プログラムを実施し、持続可能な債務返済能力を確保していくことになります。

パリクラブ合意により繰延べられた債権の回収の蓋然性に関しては、この国際的な枠組みによる債権保全メカニズムという民間金融機関にはない公的債権の特性があるものの、民間金融機関との比較を容易にする観点から、当行が行う債務者区分で要注意先となった債務国向けの繰延べ公的債権については、原則、その形式に照らし、開示対象として貸出条件緩和債権(銀行法)及び要管理債権(金融再生法)に分類しています。

< リスク管理債権 >

下表は、資産自己査定を踏まえ、民間金融機関のリスク管理債権開示基準（銀行法施行規則第19条の2第1項第5号ロ）に基づき分類を行ったものです。

（単位：億円、％）

【総括】	16年9月末 残高		16年3月末 残高	貸出金残高に占める比率	
		16年3月末比		16年9月末	16年3月末
リスク管理債権合計	14,749	206	14,542	7.63%	7.53%
破綻先債権	5	4	0	0.00%	0.00%
延滞債権	3,186	506	2,680	1.65%	1.39%
3ヶ月以上延滞債権	567	135	702	0.29%	0.36%
貸出条件緩和債権	10,989	169	11,158	5.69%	5.78%
貸出金残高合計	193,290	228	193,062	100.00%	100.00%

（単位：億円、％）

【国際金融等勘定】	16年9月末 残高		16年3月末 残高	貸出金残高に占める比率	
		16年3月末比		16年9月末	16年3月末
リスク管理債権合計	6,292	114	6,177	7.19%	7.08%
破綻先債権	5	4	0	0.01%	0.00%
延滞債権	2,670	506	2,164	3.05%	2.48%
3ヶ月以上延滞債権	63	96	160	0.07%	0.18%
貸出条件緩和債権	3,553	299	3,852	4.06%	4.41%
貸出金残高合計	87,504	227	87,277	100.00%	100.00%

（単位：億円、％）

【海外経済協力勘定】	16年9月末 残高		16年3月末 残高	貸出金残高に占める比率	
		16年3月末比		16年9月末	16年3月末
リスク管理債権合計	8,456	91	8,365	7.99%	7.91%
破綻先債権	-	-	-	-	-
延滞債権	515	-	515	0.49%	0.49%
3ヶ月以上延滞債権	504	38	542	0.48%	0.51%
貸出条件緩和債権	7,436	130	7,306	7.03%	6.91%
貸出金残高合計	105,786	0	105,785	100.00%	100.00%

< 金融再生法開示債権 >

下表は、資産自己査定を踏まえ、金融再生法開示基準に基づき分類を行ったものです。

(単位：億円、%)

【総括】	16年9月末 残高	16年3月末比	16年3月末 残高	総与信に占める比率	
				16年9月末	16年3月末
金融再生法開示債権	14,753	198	14,554	7.25%	7.20%
破綻更生債権及び これらに準ずる債権	708	24	683	0.35%	0.34%
危険債権	2,487	477	2,009	1.22%	0.99%
要管理債権	11,557	304	11,861	5.68%	5.87%
正常債権	188,788	1,187	187,601	92.75%	92.80%
合計	203,542	1,385	202,156	100.00%	100.00%

(単位：億円、%)

【国際金融等勘定】	16年9月末 残高	16年3月末比	16年3月末 残高	総与信に占める比率	
				16年9月末	16年3月末
金融再生法開示債権	6,296	106	6,189	6.49%	6.48%
破綻更生債権及び これらに準ずる債権	708	24	683	0.73%	0.72%
危険債権	1,971	477	1,493	2.03%	1.56%
要管理債権	3,616	396	4,012	3.73%	4.20%
正常債権	90,718	1,332	89,386	93.51%	93.52%
合計	97,015	1,438	95,576	100.00%	100.00%

(単位：億円、%)

【海外経済協力勘定】	16年9月末 残高	16年3月末比	16年3月末 残高	総与信に占める比率	
				16年9月末	16年3月末
金融再生法開示債権	8,456	91	8,365	7.94%	7.85%
破綻更生債権及び これらに準ずる債権	-	-	-	-	-
危険債権	515	-	515	0.48%	0.48%
要管理債権	7,941	91	7,849	7.45%	7.36%
正常債権	98,070	144	98,215	92.06%	92.15%
合計	106,527	53	106,580	100.00%	100.00%

以上